

景観まちづくり特集号

美しい風景に出会えるまち

見つめてみよう水無川周辺の景観

私たちの住むふるさと秦野は、県内唯一の盆地を形づくる丹沢の山々、そこから発する清流と東方に広がる平地により形成される水と緑に恵まれた自然豊かなまちです。

市内中心部を流れる水無川は、まちなかの景観にうるおいや安らぎを与え、水辺の緑地や散策路は川の流れや周辺の山並みの眺めを安心して楽しめる場所として市民に親しまれています。

上流に目を向けると、丹沢の山々とともに富士山を望むことができ、河川敷には散策路を行き交う人々の目を楽しませる色あざやかな花壇も整備されています。

これらの景観は、地域の人々に親しまれ、次の世代へ引継ぐべきものでもあるため、秦野市景観まちづくり条例に基づき、平成20年11月1日に「地域景観拠点」に登録しました。

問い合わせ 都市づくり課 ☎(82)9643

県立秦野戸川公園



丹沢の山々から秦野盆地に注ぐ水無川の上流に位置し、丹沢登山の玄関口でもある公園は、多くの登山客や観光客が訪れます。



「風の吊り橋」
ライトアップされた

公園のシンボルとなっている「風の吊り橋」は、長さ267メートル、高さ35メートルに及び、今年7月25日よりライトアップされました。

第61回全国植樹祭



公園を会場とする第61回全国植樹祭の開催日が平成22年5月23日に決定しました。

水無川緑地



河川敷の整備が進み、水辺に沿って広がる花とみどりを気軽に楽しむことができるため、市民の憩いの場として人気が高まっています。

また、市民のふれあいの場として始まった「市民の日」(11月3日)は多くの来場者でにぎわいます。



「市民の日」
の様子

シダレザクラ



平和橋から水無瀬橋の間約2キロにわたって150本ものシダレザクラが植えられ、地元の自治会により維持管理されています。

桜土手古墳公園



古墳群としては県内最大規模で、「かながわの公園50選」に選ばれています。公園には、保存古墳6基と復原古墳1基があり、古代の歴史や文化を現代に継承させます。

湧水に親しめる歩道



歩道からも水無川を感じられ、市民が憩い交流し遊ぶ空間として小川も整備されました。
市民活動団体「せぜらきを育む会」により維持管理されています。

「現在、市職員の皆さんの協力を得て少人数で管理等を行っています。街のなかの小川を市民の皆さんと親しみのある空間にしていきたいですね。」と会長の平井嗣夫さん。

景観まちづくり市民会議花壇



「景観まちづくり市民会議」は平成19年1月に発足しました。身近で実践的な取り組みによる景観づくりを目指そうと、市民団体「はだの悠遊会」の協力のもと、河川敷にモデル花壇を整備しています。

まほろば大橋



秦野の玄関口である「まほろば大橋」は、水無川の自然と調和し、市民の触れ合いや憩いの場としても愛されています。

市民団体による花壇

河川敷には多くの花壇等があり、市のアダプト(公園里親)制度を利用する市民団体によって維持管理されています。季節によりそれぞれ異なった草花が咲き、そこを通る人々に四季を感じさせてくれます。

